

南山大学図書館報

ΔΥΝΑΜΙΣ

～デュナミス～

No.42 2002.10.1

経済不況は好機到来

中矢 俊博

日本の経済社会は、10年来の不況に喘ぎ苦しんでいる。国家財政は破綻寸前だし、企業や銀行は不良債権を大量に抱え、共に頭を悩ます。失業率も5%を超えたと騒がれ、少子高齢化の勢いも止まりそうにない。

経済の不振と期を一にするかのように、日本全国の経済学部への志願者も急減しており、この数年で最も志願者を減らしたのは、文学部ではなく経済学部だそうである（南山大学経済学部は例外であり、志願者は増えている）。不況の影響からか、学生の実学志向が増え、受験生は資格を目指した学問に集まっていると聞く。医師・薬剤師はもちろんのこと、カウンセラーや栄養士・弁護士・公認会計士・税理士といったものを狙える学部が人気なのだそうです。

しかし、わたしはこのような不況期こそ、経済学を教えるものにとって、フォローの風が吹いていると捉えている。わたしたちの経済社会はどのような仕組みで動いているのか、人はなぜ働かなければならないか、どうしてこのような不況になるのか、不況を克服するためにわたしたちは何をしたら良いのか、といった事柄を考えるのに今ほど適した時代はない。

実際、南山大学に入ってきた他学部の学生に経済学の初歩を教えると、ビックリするような反応が返ってくる。学生による授業評価のついでに書かせた感想文には、「今まで自分が経済の事を何も知らなかったことは犯罪ですらある」と書いてきた学生もいた。

経済社会が不況に苦しんでいる今こそ、経済

学を学ぶ者にとって好機到来である。もっと言うならば、経済の知識がないと、これからの社会では生き残っていけないに違いない。好況や不況の分析だけでなく、外国為替や日本国債、人口や食糧、エネルギーや環境、適切な税制、社会保障制度、人間の尊厳を維持するために自分にあった仕事をもつことの大切さなどを、若い人たちは真剣に考えるべきである。

最近、わたしたち経済学部の教員は、そのような問題への手引きとして、経済学の入門書『大人になるための経済学入門』（NHK出版、2002年）^{*1)}を出版した。イラストや図表をたくさん使い、分かりやすく経済学を解説しているので、ぜひ一度図書館で手にとって眺めて頂きたい。この本を最後まで読み終えた人は、きっと自分の力で、現実存在している経済問題への対策を考えていくことが出来るであろう。そして、南山大学の図書館にある経済学関係の書物に手を伸ばし、さらなる知識の獲得に努力を惜しまないようにしたら、本当にうれしく思う。

蛇足かもしれないが、わたしが昨年出した『入門書を読む前の経済学入門』（同文館出版、2001年）^{*2)}の方も同時に手にして頂けたら、これにまさる幸せはない。

（Toshihiro NAKAYA：経済学部教授）

南山大学図書館での請求番号

*1) 331K/1772, 331L/1772/A

*2) 331K/1760, 331L/1760/A

秋 学期

図書館利用講習会のお知らせ

春に引続き、図書館を使いこなすための利用講習会を開催します。
個人でも、ゼミ・授業単位でも申し込みできます。

■ 講習の内容 ■

初 級

図書館の使い方や資料の探し方の基本など、図書館の資料を上手に使う方法を中心に説明します。また図書館内を実際に案内します。

中 級

卒業論文やレポートの作成などに役立つ文献・資料の探し方を中心に説明します。特に図書館 Web ページから効果的かつ効率的に資料を探す方法を紹介します。

開催日程：10月1日(火)～11月29日(金)

所要時間：60～90分

人数・内容・時間など、ご相談に応じます。

申込場所：受講を希望するキャンパスの図書館レファレンス・カウンター

**図書館
新システム
導入**

GEMMA - II から NeoCILIUS Knowledge OPAC へ

目録検索システム GEMMA - II は、この秋 NeoCILIUS Knowledge OPAC に変更となりました。新しいシステムでは、貸出中・予約保管中など各自の利用状況を利用者自身で確認できる**利用照会**の機能なども加わりました。4 ページ以降に紹介していますのでご覧ください。

図書館では、この新システム導入にともない、NeoCILIUS Knowledge OPAC 利用講習会を開催しています。
詳細は館内ポスター・図書館 Web ページをご覧ください。

Essay

レファレンスとサポート ——図書館と司書課程

川崎 勝

私は着任してまもなく司書課程設置準備委員に任命され、開講と同時に「資料各論」の講義を割り当てられた。要するに学内で司書関係の講義を持てる人がいなかったからだ。現在も学内で講義を担当しているのはわずか3名のみ。この道のエキスパート鈴木志元さん。図書館実務に精通して目録に関する論文もある超ベテラン職員の栗山義久さん。私はたまたま司書資格を持ち、かつて国立国会図書館憲政資料室の研究員の経験があっただけのこと。ただ「資料」科目をあてがわれれば、私の専攻が歴史研究である以上、断るわけにもいかなかった。

南山大学の司書課程も3年目を迎えた。創設準備時から委員長をされた前図書館長の浜名優美さんが、教学担当副学長になられたため、後がまに据えられてしまった。「もう軌道に乗ったから何もすることもないよ」と、気楽さを臭わせる「優しい」言葉に乗せられて押しつけられてしまったが、これが大間違い。後悔先に立たず、問題は山積していた。

多くの問題の中で、その解決への糸口として、私が日頃考えてきたことの一つを、この場を借りて、司書課程の受講生と図書館員、そして全学のみなさんに、お話しさせていただこう。

まず、図書館の最も重要な機能は何かということ。一言でいえば、「レファレンス」にある。それは、学生や教員に対する、書籍類の検索の手助け、OPACの使い方など様々あるが、私が言いたいことは、カウンターでなされる業務だけではない。ゼミ生への「図書館講習会」の意味は、資料入手のための効率のよい方法論の伝授にあるのではなく、本報No.40で林尚志さんが「新たな発見」ができる場と評価された点にある。学生と教員、一般の人々に、「新たな発見」をサポートするものが、真の「レファレンス」なのである。レファレンスの充実していない図書館は、販売しない古書会館に過ぎない。

くどいようだが、レファレンスの意味は、体系的な収書、組織的な整理と分類、配置の組織化のことである。これは、すでにNo.39で石田昌久さんが「対人サービス部門と技術サービス

部門」の有機的結びつきを強調されたことである。そのどの一部が欠けても図書館の機能は低下する。そういう意味で図書館員の使命は重く、課せられた仕事にはきわめて高度な専門的知識が要求されている。司書資格はこのレファレンスを十分にこなせる人材に与えられるものだというのを、十分認識して受講して欲しいし、全学的な支援をもお願いしたい。

南山大学の司書課程は、単に「図書館学シリーズ」のような一般的な情報を教授するのではなく、南山大学の図書館のもっている特性、他大学にない資料を実際に活用してもらいながら、それを通して普遍性を学べるようにしてきた。しかし、これを実現させていくことは並大抵の努力では不可能である。

学問の専門分化が極端に進んだ現在、それを独りで担える教員は存在しない。私の担当の「資料各論」は、人文科学、社会科学、自然科学の全分野の、しかもその「専門」資料を講義する科目である。これを私一人でこなせるわけではない。こうした現状を克服していくために、図書館で日々こうした業務に携わりながら、研究をも行っている館員に協力とサポートをお願いしてきた。学生の評価も高かった。図書館員の専門性への努力は、残念ながら全学的にどこまで認知されているかはなはだ疑問であるが、『南山大学図書館紀要』に着実に結晶されてきていることは誠に喜ばしく、大いに期待したい。

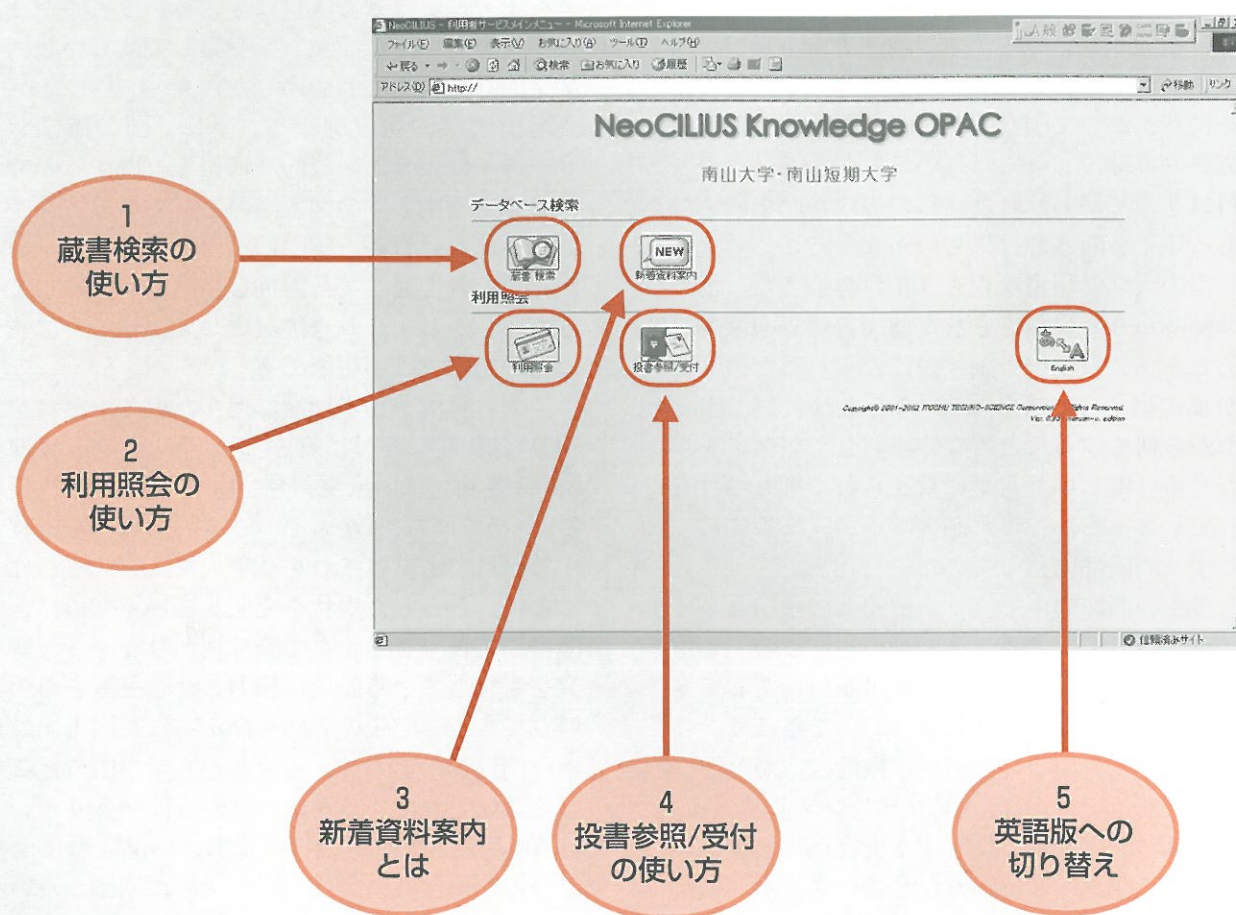
また昨年度末には、受講生から、図書館実習の授業では物足りないからもっと実際の業務に接して勉強したいという要望があり、ボランティアのサポーターとして業務を手伝わせてもらうことができた。私もその報告会に出席したが、きわめて有益であった。今後も大森正樹館長のご理解を得て、図書館に迷惑を及ぼさない範囲で協力をしていただきたいと思います。

こうした図書館と司書課程の連携こそ、課程の前進のみならず、大学の研究教育への貢献に繋がると確信するのは私だけだろうか。

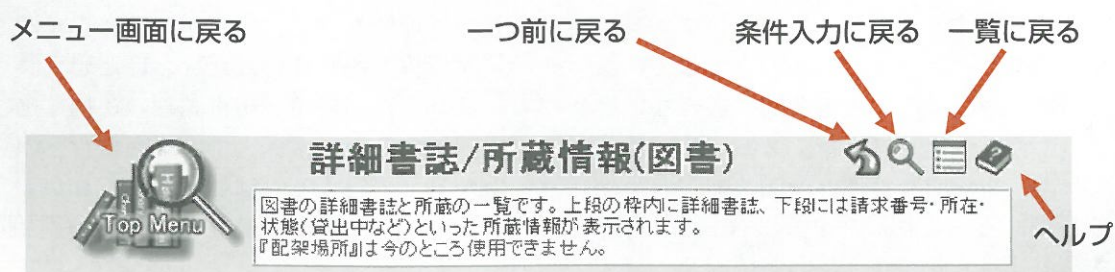
(Masaru KAWASAKI：経済学部教授)

NeoCILIUS Knowledge OPAC の使い方

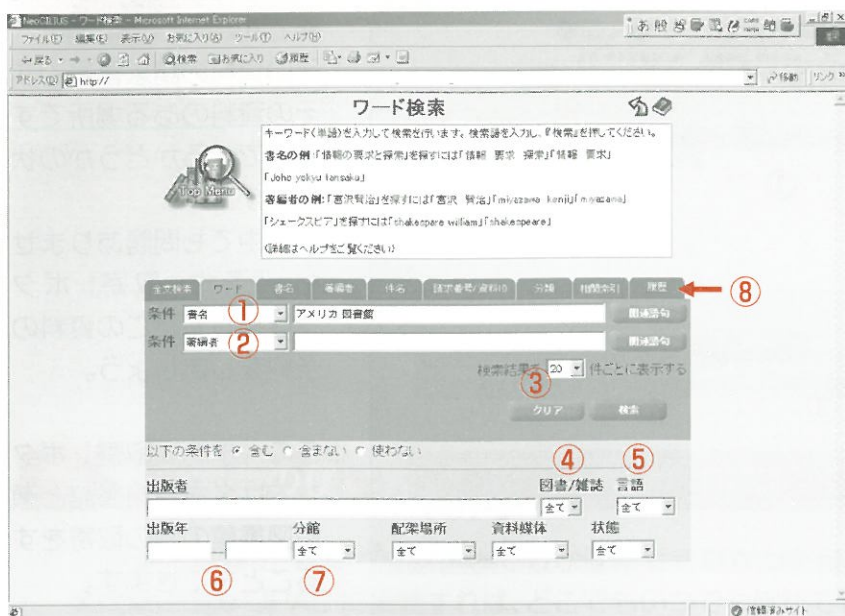
南山大学図書館や大学に設置されている研究所・センター、南山短期大学図書館に所蔵する資料の基本的な探し方や、今までの GEMMA-II にはなかった新しい機能を紹介します。



それぞれの機能の説明は次のページから始めましょう。
その前に全ての画面に登場する共通マークの説明です。



1. 蔵書検索の使い方



ワード検索

単語を入力して検索をします。探したい資料に関する単語を入力して『検索』ボタンを押してください。

① 書名の場合

『アメリカ図書館思想の研究』という図書を探す場合、『アメリカ』『図書館』『思想』という言葉を入力します。もちろん複数単語による検索もできます。

② 著者名の場合

『夏目漱石』が書いた図書を探す場合、『夏目』『漱石』という言葉を入力します。

それでは『アメリカ』と『図書館』という言葉で図書を探してみましょう。書名の欄に『アメリカ』『図書館』と入力をして『検索』ボタンを押します。

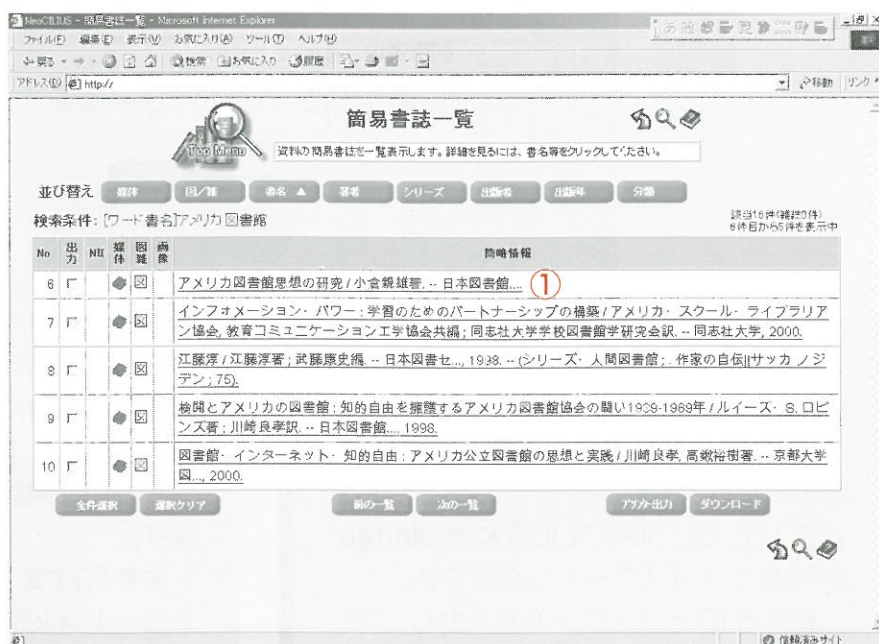
もちろん図書と雑誌で区別して検索をしたり(④)、言語で絞りこみをしたり(⑤)、出版年で検索対象の制限をかけたり(⑥)、調べたい分館だけにする(⑦)こともできます。また結果の一覧表示の件数も変更する(③)ことができます。

ワード検索の他にも書名の方で一致検索や著者名で検索することも可能です(⑧)。その時はそれぞれのタブをクリックしてください。

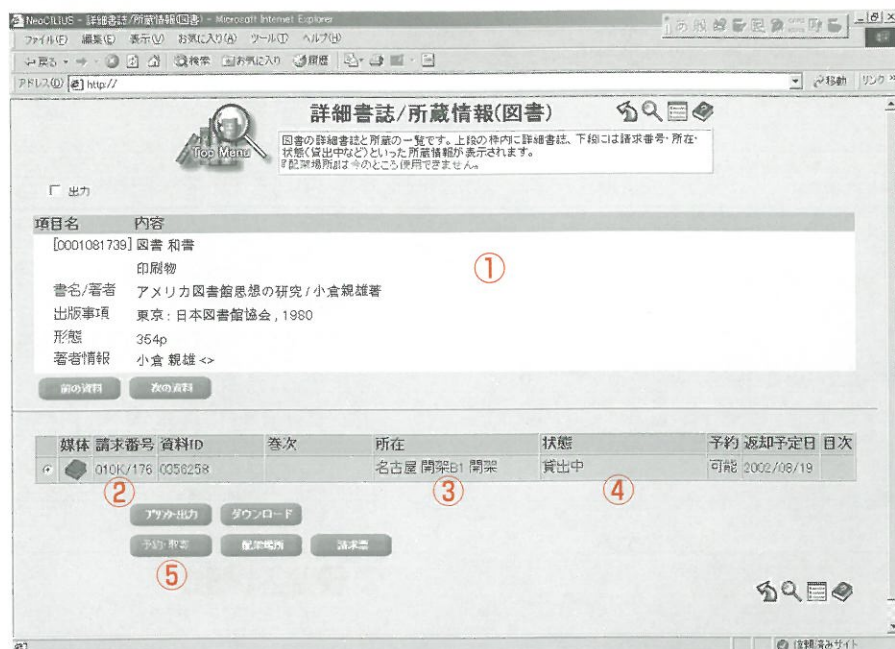
簡易書誌一覧

検索結果の一覧画面です。資料の詳しい内容や請求番号、配架場所などを調べるには、簡略情報をクリックします。

もちろん並び替えも可能です。



『アメリカ図書館思想の研究』という図書の詳細データと請求番号を調べましょう。簡略情報の欄(①)をクリックします。



詳細書誌/所蔵情報(図書)

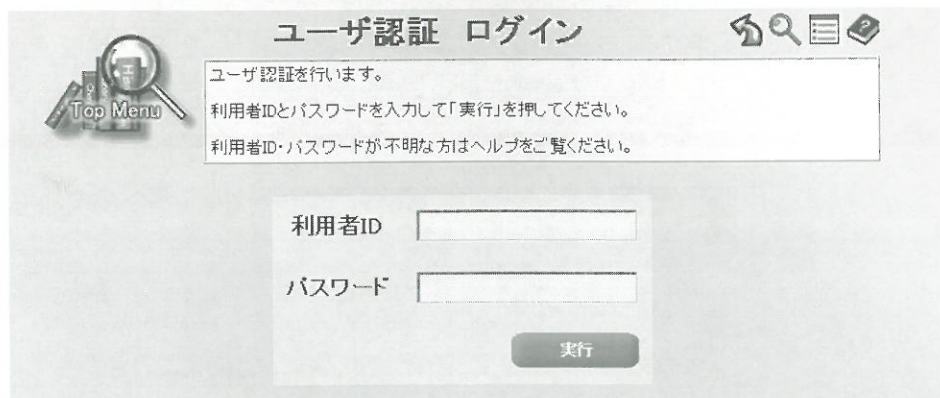
- ①選択した資料の詳しい情報です。
- ②その資料の請求番号です。
- ③その資料のある場所です。
- ④利用できるかどうかの状態です。
- ⑤貸出中でも問題ありません。『予約・取寄』ボタンを押して、この資料の予約をしましょう。

※この『予約・取寄』ボタンでは名古屋図書館と瀬戸図書館の間の取寄をすることもできます。

請求番号と所在場所、資料の状態がわかります。

必要な資料が『貸出中』の場合は『予約・取寄』ボタンを押しましょう。

ここから先は今までのGEMMA-IIとちょっと違います。しっかり覚えてください。



『予約・取寄』ボタンを押すとこの画面に移ります。

GEMMA-IIでは利用者ID(学生番号など)だけで予約や取寄をすることができましたが、NeoCILIUS Knowledge OPACではパスワードも必要です。

利用者IDとパスワードを入力し、『実行』ボタンを押したら予約画面に進みます。

パスワードって?

NeoCILIUS Knowledge OPACでは全ての利用者に、パスワードを設定しました。南山大学の学生及び教職員のパスワードの初期設定は生年月日にしてあります。

生年月日が1980年4月1日の場合、パスワードは1980/4/1です。

初期パスワードは2003年1月31日で無効となるので、早急に変更しましょう。変更方法は次のページをご覧ください。

予約・取寄

貸出中の資料の予約や他キャンパスの資料の取り寄せを行います。
受取館を選択し、『実行』を押してください。
詳細については、ヘルプをご覧ください。

氏名: 所属:

タイトル/著編者: アメリカ図書館思想の研究/小倉親雄著
出版者: 日本図書館協会
請求番号: 010K/176

受取館: 名古屋 ①

実行

予約・取寄

受取館 (①) を選択して、『実行』ボタンを押します。
※名古屋図書館、瀬戸図書館の資料については、受取館を指定することにより、どちらでも受け取ることができます。それ以外は資料が所蔵されている館での受け取りとなります。

2. 利用照会の使い方

今までは貸出・返却カウンターでしか確認できなかった自分の利用状況が NeoCILIUS Knowledge OPAC に接続すれば、どこでもいつでも確認できます。

ユーザ認証 ログイン

ユーザ認証を行います。
利用者IDとパスワードを入力して『実行』を押してください。
利用者ID・パスワードが不明な方はヘルプをご覧ください。

利用者ID:

パスワード:

実行

メニュー画面で『利用照会』を選ぶと、予約と同様にユーザ認証に進みます。
利用者 ID とパスワードを入力し実行を押すと利用照会個人情報画面に進みます。

利用照会 個人情報

利用者の貸出状況や、貸出・予約・取寄の状況を表示します。
パスワードを変更したい場合は、画面下の「パスワード変更」をクリックしてください。
借書を見たい、あるいは貸書したい場合は、画面下の「借書検索」をクリックしてください。

氏名: 所属:

連絡事項:

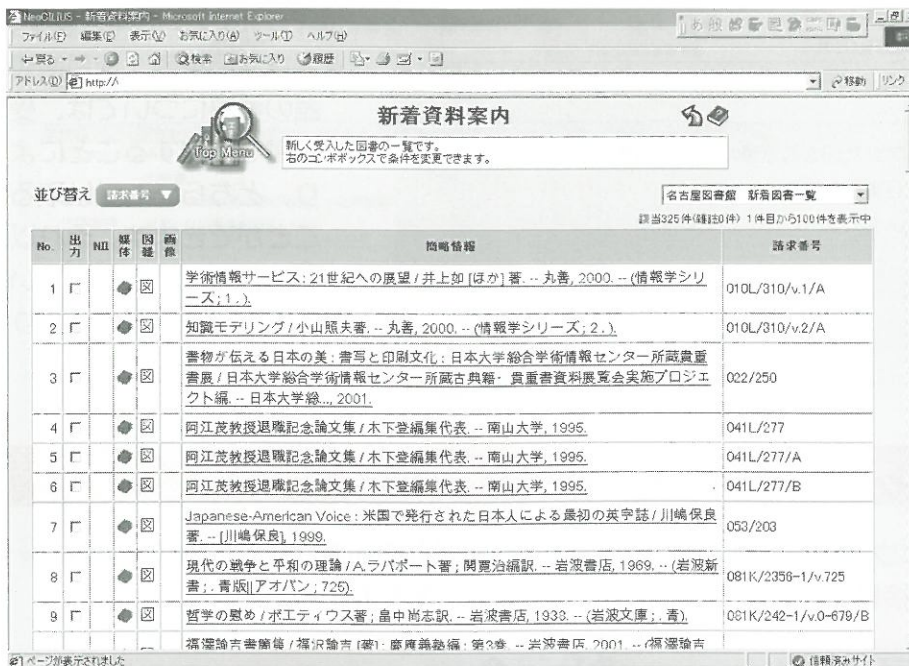
貸出/取寄	タイトル / 著者 - 出版者	貸出/予約日	返却/保管期限
貸出中	アメリカ図書館思想の研究/小倉親雄著 - 日本図書館協会	2002/03/02	2002/03/19
貸出冊数: 1 冊	予約冊数: 0 冊		

パスワード変更 ③ 借書検索 ④

利用照会 個人情報

- ①貸出中の資料がわかります。
- ②その資料の貸出期限がわかります。
貸出中だけでなく、予約中、予約保管中などの状態もわかります。
- ③パスワードの変更をすることができます。新しいパスワードを入力して実行ボタンを押してください。パスワードはこまめに変更しましょう。
- ④自分の借書が表示されます。詳細は『4. 借書参照/受付の使い方』で説明します。

3. 新着資料案内とは



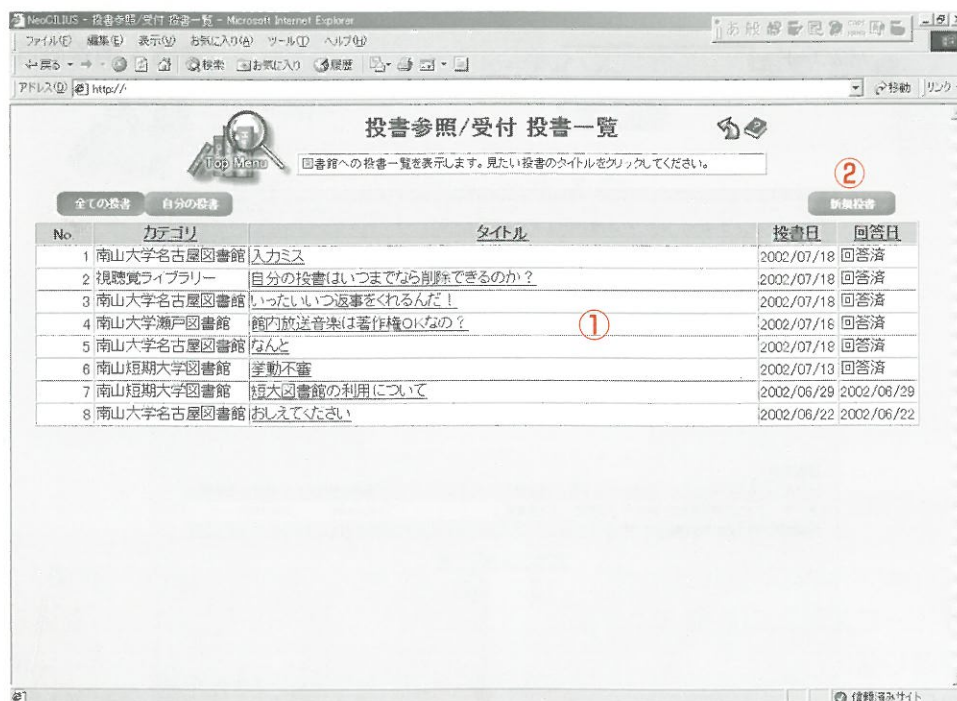
新着資料案内

毎週月曜日に新たに利用可能となった資料の一覧が表示されます。最新の利用可能な資料はここで知ることができます。

このリストに掲載された資料の詳細は簡略情報をクリックすることで見ることができます。

4. 投書参照／受付の使い方

これまでの『あなたの声』と同様に図書館への質問、図書館に対する要望を伝えることができます。



投書参照／受付一覧

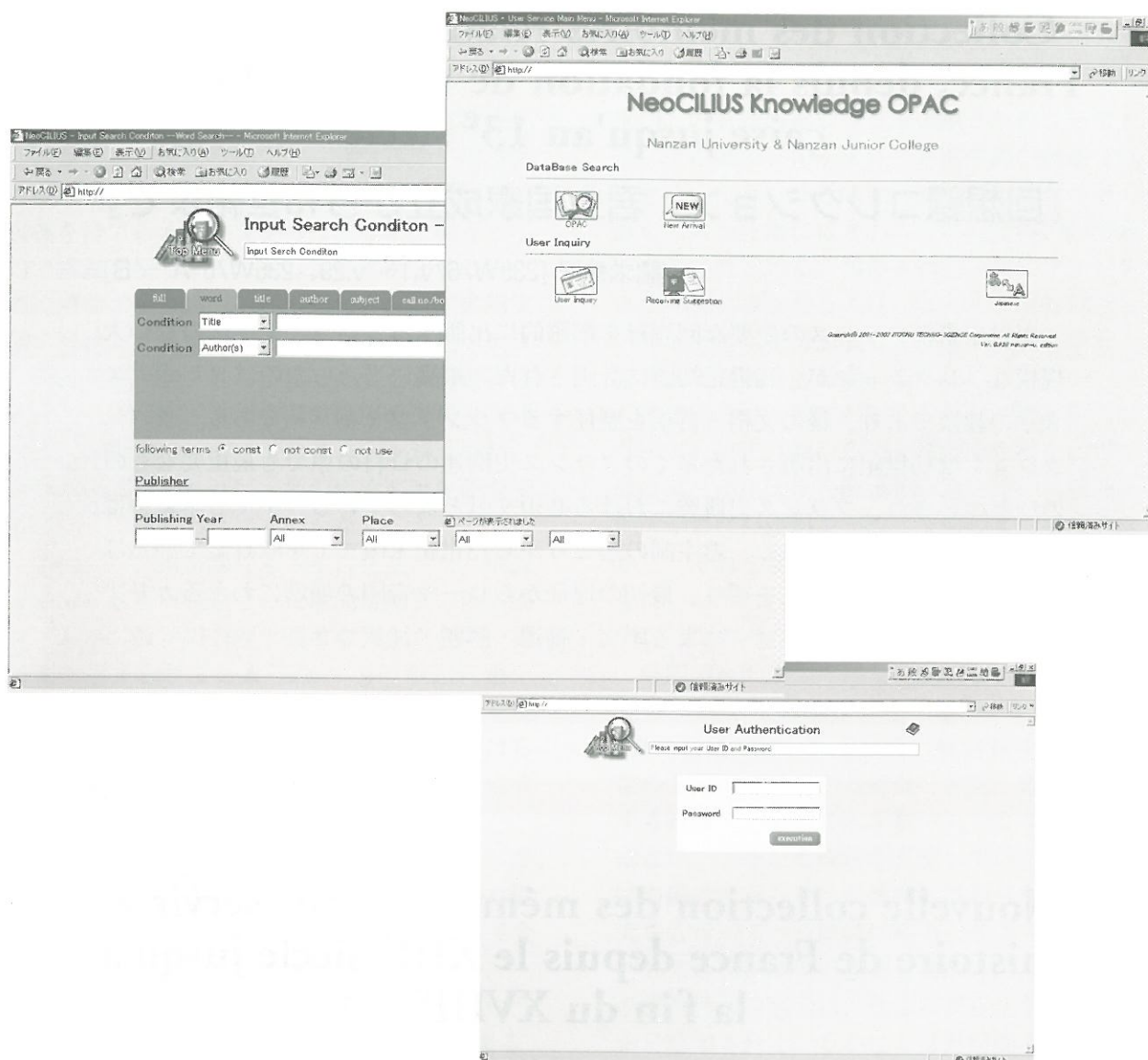
- ① 図書館に寄せられた質問や要望の一覧を見ることができます。タイトルをクリックすれば、その質問や要望に対する回答も確認できます。
- ② 新しく投書をする時は『新規投書』ボタンから進みます。NeoCILIUS Knowledge OPACに参加している分館に対して投書できます。

利用者 ID や氏名は公開されません。忌憚のない、あなたの声をお聞かせください。

5. 英語版への切り替え



のボタンひとつで英語版に切り替わります。もちろん機能は日本語版とかわりません。



新しくなった NeoCILIUS Knowledge OPAC をどんどん利用してください。今回紹介できなかった機能もあります。きっと今までの目録検索システム『GEMMA-II』ではできなかったことが見つかるはずです。



NeoCILIUS Knowledge OPAC で資料の検索ができる館
(それぞれの館で利用条件が違いますので、ご注意ください)

南山大学

名古屋図書館	瀬戸図書館
視聴覚ライブラリー	人類学研究所
宗教文化研究所	社会倫理研究所
アメリカ研究センター	ラテンアメリカ研究センター
オーストラリア研究センター	ヨーロッパ研究センター

南山短期大学図書館

(Chiyoshi ISHII : 図書館システム開発・運用プロジェクト 石井 知好)

資料紹介

Collection des mémoires relatifs a l'histoire de France, depuis la fondation de la monarchie française jusqu'au 13^e siècle

『回想録コレクション：君主国家成立から13世紀まで』

請求番号 [235W/6/v.1～v.29、235W/6-A～B]

中世以来のフランスの主要な回想録を網羅的に出版するという、史上例のない大規模なコレクションが、19世紀初頭に計画された。編纂に当たったのはソルボンヌ大学の教授であり、後に文相・首相を歴任するフランソワ・ギゾーである。当コレクションは19世紀に出版された多くのフランス史関連の資料の中でも最重要もののひとつとされ、フランス史研究における必須文献となっている。中でも本資料は、扱っている時代が一番古く、君主制の起こりから13世紀末頃までを収録しているほか、補遺ではさらに時代を遡り、最初の遠征からローマ帝国の崩壊にわたるガリアの歴史を扱っている。ギゾーによる序文・補遺・解題・注釈つき。

Nouvelle collection des mémoires pour servir a l'histoire de France depuis le XIII^e siècle jusqu'a la fin du XVIII^e

『回想録コレクション：13世紀から18世紀まで』

請求番号 [235W/7/v.1～v.34]

本書は、上記コレクションの続編として1850年に出版されたものである。それまで未出版の回想録が数多く加えられ、新たに加わったものとして、ピエール・サラザン、ギーズ公フランソワ・ド・ロレーヌ、ピュジェマルボーの作品がある。そして未出版の回想録の断片として、ピエール・ド・フェナン、レストワル、レス枢機卿、ルネ、ブリアンヌ、オメール・タロン、ショワジーの作品なども加えられている。

フランス19世紀歴史学の研究のために不可欠な資料であるのみならず、西洋史を専門とする全ての研究者にとって有益なものである。

古文書研究

請求番号 [Z/210/Ko66]

日本古文書学会の編集による日本の古文書研究に関する唯一の学術雑誌。

創刊号以来、古文書に関する多くの研究論文、解説・解題、随筆、資料紹介、講座、書評、論文目録などの研究関係に掲載するほか、参軍要略抄紙背文書など、従来知られていなかった古文書の翻刻・紹介も数多くおこなっている。それらのみならず、啓蒙的な面も持ち合わせた雑誌であり、日本史・日本文化の研究には非常に有益な資料といえる。

叢書日本人論

請求番号 [361.6K/1573/v.1～]

本叢書は、既に刊行されている『日本人論』の中で、明治以降1945年の敗戦までに刊行された著書のうち、今日絶版となって入手できないもの42冊を複製し、各巻巻末に新しく解説を加えたものである。

世界に類のない急速な発展にともなうその時々日本人の自己評価と自己反省を忠実に表現し、自国の国民性を研究・評論・随筆の形で語った書物である。維新直後西洋の先進諸国に対して抱いた劣等感、その反動としての優越感、日清・日露戦争を経験した結果生まれた列強意識などが交差していることがわかる。

また、大正デモクラシーの一時期に見られた国際主義を経て、日本精神を強調する軍国主義とそれに対する少数派の意見などが入り乱れる、その社会心理的な状況を理解する上でも非常に有用である。日本人の国民性を考える上で必要不可欠な資料といえる。

南山大学図書館 秋の企画展

Library Dictionary

～図書館を知る～

瀬戸図書館

Seto Library

期 間 2002年10月21日(月)～10月27日(日)

時 間 9時15分～閉館時間まで

会 場 瀬戸図書館 ブラウジングコーナー 横

※10月27日(日)は図書館休館日ですが、企画展のみ入場出来ます(10時～16時)。

名古屋図書館

Nagoya Library

期 間 2002年10月29日(火)～11月9日(土)

時 間 8時45分～閉館時間まで

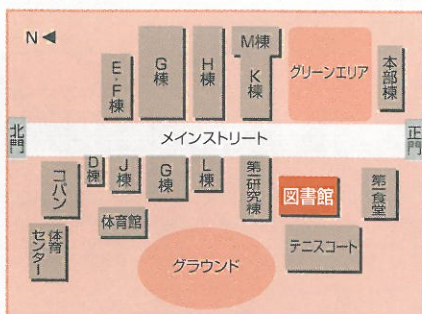
会 場 名古屋図書館 1階ブラウジングコーナー

※11月3日(祝)、4日(休)は図書館休館日ですが、企画展のみ入場出来ます(9時～16時)。

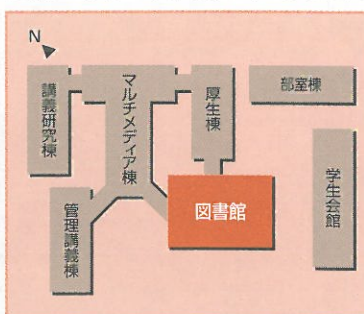
「図書館」の生い立ちから未来像までを様々な視点で紹介。
もちろん、南山大学図書館についてもピックアップ。
さあ、あなたも図書館通になろう！

《編集後記》

図書館のシステムが生まれ変わりました。使い心地はいかがですか？デュナミスともども、よろしくお願い致します。(太伊日)



<名古屋キャンパス>



<瀬戸キャンパス>

南山大学図書館報 デュナミス No.42

2002. 10. 1 発行

<http://www.nanzan-u.ac.jp/TOSHOKAN/>

発行：南山大学図書館 広報委員会

編集委員：太田、伊藤、日高

印刷：一誠社

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18

Tel: 052(832)3707/Fax:052(833)6986